



防犯

リフォームで

大切な家族と財産を守る

仕事をしている時
子どもの留守番が心配

今の家のセキュリティでは
不安がある



ご存知ですか？

泥棒の行動特性

警察庁の統計によると、住宅に侵入して金品を盗む侵入窃盗は約15分に1件発生。そのうち、75%は戸建住宅で発生しています。戸建住宅はマンションに比べて窓の数が多く、オートロックや防犯カメラなどを設置している家庭も多くはないので、より狙われやすいのかもしれません。

例えば

プライバシーを確保！
クローズ外構

- 物理的に侵入しづらい
- △ 死角が多いため、侵入されると見つけづらい

やるべきこと

弱点である“死角”対策



リフォーム例
死角に防犯カメラ・
センサーライト設置

外構タイプによって、防犯対策は違います！

開放的！
オープン外構

- 人目につくため、心理的に侵入しづらい
- △ 物理的に侵入しやすい

やるべきこと

侵入しづらい環境づくり



具体策
シャッター設置・
タイマー式室内ライト
(留守でも在宅を装う)

(人生をがいっしょに。)
Sincerely for You

TOYOTA HOME

防犯面を強化する さらなるアイテムは裏面へ！

狙われやすい！対策

侵入しようと思わせない



防犯リフォームは、侵入者が「嫌がる家づくり」です。自宅にほんの少しの工夫を加えるだけで安全性が高まります。あからさまな防犯対策をすることが寄せつきにくい家の特徴とされています。

入られやすい！対策

侵入されても時間をかけて諦めさせる



防犯

お手軽

設置

アイテム

防犯対策の積み重ねが大切

侵入者が嫌う「光」「音」「時間」「人の目」に配慮したリフォームで、「防犯意識が高い家」と思わせることが侵入者を寄せ付けないことにつながります。見た目でも侵入の難しさを知らせる「見える」防犯で、狙われるリスクを最低限に抑えましょう。



車両盗難抑止柱

道路との境界を示し、住宅街でも頻発する車両盗難を柱があることで物理的に防ぐことができます。



玉砂利

忍び足でも大きな音(掃除機と同じレベルの音量)が出る防犯砂利は周囲への音が響くため、侵入者が嫌う傾向があります。



センサーライト(屋外)

人感センサーで点灯するので、防犯意識の高さをアピールできて、隠れる場所を与えず、侵入の大きな妨げになります。



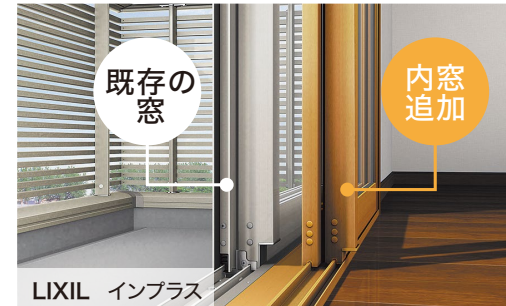
防犯カメラ 屋外対応無線式カメラ

配線工事不要で、アプリを通じてリアルタイムで映像を確認できるほか、センサーが動きを検知するとスマートフォンにプッシュ通知が届きます。



IoT対応照明

照明の灯りで不在や帰宅時間などが察知されることを防止するため、スマホの遠隔操作で照明のスイッチのオン・オフができて、在宅を装うことができます。



内窓

内窓を取り付けることで2ロックとなり、侵入までの時間を稼ぎ、また合わせガラスが「ガラス破り」対策にも有効です。



仕切り戸(死角対策)

間口の狭い勝手口の入口に仕切り戸を付けば入りにくくなり、乗り越えようとしても、すぐに不審者だとわかるメリットもあります。

侵入を拒む防犯

狙われやすい窓や玄関など、侵入口をしっかりガードすることが防犯対策のカギになります。侵入抵抗力を高めて、被害を防ぎましょう。



窓(CPマーク)交換

「侵入までに5分以上時間を要する」など一定の防犯性能があると評価された窓にCPマークは与えられます。サッシを交換すればガラス破り対策に有効です。

入られやすい！対策



玄関ドア交換

2ロックを装備すると、シリンダー自体も不正解錠しづらい構造なので、侵入までに時間がかかり、あきらめさせる効果が期待できます。



勝手口交換

視線が届きにくい勝手口は玄関より侵入しやすい出入り口。2ロックや採風ロックなど、高い防犯性を誇るロックシステムを装備。

さらに

強化

アイテム

狙われやすい！対策



セキュリティインターホン

録画機能付きであれば、侵入者が証拠を残すことになり、スマートフォンで不在時にも来客対応できます。



カーポート(オーバードア付)

カーポートにカーゲートやシャッターを設置して、敷地への侵入を防ぐだけでなく、車の盗難防止にもつながります。



シャッター

掃き出し窓などの大きな窓には、窓をしっかりガードできるシャッターを取り付けて、無防備な窓からの侵入をガードします。

連絡先

担当

※写真・イラストは全てイメージです。

TOYOTA HOME
REFORM